

## 第17回体の動きを高める運動領域部会記録

参加者

部 員 河野 古川 畠中 岡田 関川 藤原 山本 藤井 坪根 鈴木

常任理事 黒澤先生

### 1 教師の働きかけ（畠中）

どんな子供を想定すればよいか迷った。問いの分類と関連させて、単元の序盤・中盤・終盤で分けた。資料自体を、何年生対象にするのか。5・6年どちらにも使えるものとして提案するのか。

3つの学習課題と単元のを概ね3つに区切った表をベースに、「子供の問い」「具体的な手立て」「教師の言葉かけ」「教師の働きかけ」の4項目を示した。

部会の意見

- ・情報量が多くて活用が難しいのではないかな。
- ・学習課題ごとに全てつながった表になっているが、学習課題ごとに分けた方がよいのではないかな。
- ・活用するとなると情報が多いが、教師の働きかけの明確化としては、詳細にまとめられていてよい。部会資料としては価値のある資料となっている。
- ・単元の序盤・中盤・終盤はそのままに、学習課題で分けなければ見やすくまとまるのではないかな。

宿題

岡田、山本でそれぞれ見やすくなるようにデザインを修正して次回提案。

### 2 自己の取組を修正・活用するとは（河野）

運動への取組、1単位時間の取組、3時間ごとの取組について、自己の体の動きを高めるために適切に取り組めていたかどうかを振り返り、必要があれば取り組む運動を変更したり、次時の取組を修正したり、3時間の予定を見直したりする。また、見付けたポイントを別の運動に活用したり、身に付けた体の動きの高め方を活用し、さらに動きを高めたり、3時間の見通しをもって計画的に取り組んだりする。

### 3 学習カード（藤原）

色画用紙を折り畳んで、表紙を開くと、上部に「問いマップ」、下部に「振り返り」、裏表紙に「目標シート」というデザイン。「振り返り」は、B5用紙に3時間分の振り返りを書けるようにデザインしている。学習課題と振り返りと学習で大切なことの3点が書けるようになっている。

部会の意見

- ・学習で大切なことの欄はなくても、ロードマップで扱えばよいのではないかな。
- ・目標シート書いてある表は、計画用でも使ってもよいが、基本的には足跡として活用する。
- ・5～7時間目、8～10時間目の3時間パックの学習課題はつながっていない方がよい。
- ・学習計画（見通し、簡単な学習計画）は、振り返りとは別に用紙を作成した方がよいのではないかな。
- ・学習計画（見通し、簡単な学習計画）は、チェック欄程度の簡易的なもので運用していきたい。

### 4 プロモーションムービー（藤井）

運動アプリで使用した動画をもとに作成した。3分30秒程度。各動画の右上に、どの運動要素が分かるようなマークをつけると子供にとって分かりやすくなる。その点のみ、修正を加える。

### 5 部長より（河野）

学習カード

①様々な学習課題をもっている児童が混在する中、教師主導で引っ張っていくのかという問いに対する授業者の回答がよかった。今回の実証授業の提案は、教師主導ではなく、子供たちが自然と学習課題を見いだして、解決できるように育てていきたいというもの。そのために、簡単な学習計画を立てて取り組める時間を2パック分設定している。そこが学習過程の売り。

②学習カードに書くのは、学習課題が先か、動きが先か。動きを先に書いてしまうと、どうしても動きをできるようにするという意識が先行してしまう。学習課題が先がよい。

③「学習で大切にしたいこと」は書かせたいことではあるが、ロードマップで共有することもできるので、振り返りのページ上は削除でよいと思う。

④3時間続きの学習課題を書かせるかどうかについて。議論で落ち着いたように、1時間ごと区切ってデザインした方が、誤解なく活用できると思う。

⑤見通しや計画を立てるためのページがあったらよいのではないかなという件について。中学校との内容との差別化を図るためにも、チェック欄程度の簡単なものでよい。

### 6 常任理事より（黒澤先生）

修正という言葉の意味について。運動しながら修正するというのが、最も短いスパンで行える。計画は3時間分立てるが、修正は1時間ごとだと思う。活用という意味がイメージしづらかったが、説明があったので理解できた。

学習カードは、子供が学習を進めるための羅針盤のようなもの。何があれば、子供たちは自主的に学んで

いくかという視点でデザインを考えていくとよいのではないか。

簡単な計画とはどういうことを指すのか。例があれば分かりやすいと思う。

## 7 次回の部会予定

10月28日（金） 18:30～ Zoom を使ったオンライン会議